

小学校用『われらクリーン調査隊』発展  
「下級生にそうじの大切さや方法を  
伝えよう」

ガイドー式



# 目 次

【全体の概要】	3
【授業 発展】	
概要	6
授業進行ガイド	7
参考資料1	10
参考資料2	11
ワークシートガイド	12
参考授業（案）	13

# われらクリーン調査隊

小学校対象 /生活科・家庭科・総合的な学習の時間/1時間(45分)×7授業  
※各授業は原則45分で完結していますが、2時間連続での実施を推奨している授業もあります

## ●授業の概要

われらクリーン調査隊は、掃除について楽しく学び、学校・家庭生活に活かすダスキンオリジナルカリキュラムです。効果的な掃除の指導法を教えてくださいという先生方の声を受け、現職の先生方の力をお借りして開発いたしました。カリキュラムは、学級活動で取り組めるよう、各授業が1時間(45分)で完結するように作成されています(授業6・発展授業のみ2時間(90分)をお勧めしています)。

カリキュラムは、

- ☑【基礎・基本編】授業1～授業5
- ☑【応用編】授業6～授業7
- ☑【発展編】発展授業

の3段階8授業で構成されています。各授業における対象学年を設定していますが、学校やクラス・児童の状況に応じてアレンジして、実施いただくことも可能です。

また全授業ともに、学校の毎日の掃除時間と連動させることで、学習した内容を継続的に実践・応用されることをお勧めします。

## ●学習指導要領での位置づけ

### 【生活科】

目標 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。

内容 公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

### 【家庭科】

目標 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。

内容 住まい方に関心をもって、整理・整頓(せいとん)や清掃の仕方が分かり工夫できること。

### 【総合的な学習の目標】

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

● **授業の構成** ※本授業の背景を色づけしています。

基礎・基本編

**授業 1 どうしてそうじをするのだろう(45分) 【対象:全学年】**

掃除に対して日ごろどのような思いで取り組んでいるかなどを振り返らせ、掃除をしなかったらどうなるかを想像したり、実際に教材を確認したりしながら、掃除の必要性について探っていく。

※低学年向け授業案・教材と、中・高学年向け授業案・教材を用意しています。

**授業 2 そうじ用具を正しく使おう(45分) 【対象:全学年】**

掃除用具の正しい使い方について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除用具に対する理解を深め、掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※ぞうきん・ホウキ(チリトリ)・掃除機・モップについて学習できます。

**授業 3 学校そうじの正しい手順を知ろう(45分) 【対象:全学年】**

掃除の正しい手順について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除手順に対する理解を深め、これからの掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※黒板の拭き方、窓の拭き方、階段の掃き方、廊下の掃き方、トイレ掃除について学習できます。

**授業 4 身近にあるものを使ってそうじをしよう(45分)【対象:全学年】**

学校にはどのような汚れがあるかを確認した上で、汚れに対して効果的な掃除方法、身近なものを掃除用具として活用できることに気づき、実際に効果を感じることで今後の活動への意欲を持たせる。

**授業 5 よごれにあったそうじの方法を調べよう(45分) 【対象:中・高学年】**

実習を通して、汚れにあった掃除方法、用具を正しく選択することの大切さに気づく。また、汚れにあった掃除方法を考え、正しい方法を知ることで、これからの生活に活かしていこうという意欲を持たせる。

**授業 6 学校そうじの合格基準を作ろう(90分推奨) 【対象:高学年】**

学校をいつもきれいにするには、どうすればよいかを考え、誰もが理解できる学校掃除の合格基準を作成する。担当場所の合格の状態をデジタルカメラで撮影し、合格基準を保つためにはどのような掃除をしたらよいか、掃除の手順を見直し、考える。

**授業 7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう(45分) 【対象:中・高学年】**

家庭や学校などの身近な掃除から、それ以外の場所の掃除やプロの掃除まで掃除に対する児童の意識を広げる。そして、快適な生活を保つために、地域の人や掃除のプロが、常に努力をしていることに気づかせ、社会での掃除の必要性を理解させる。

応用編

**発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう(90分) 【対象:高学年】**

掃除の大切さや掃除用具の正しい使い方、手順をふりかえり、他の学年に伝えることで、掃除に対する理解を深め、毎日の掃除時間への応用につなげる。

※【基礎・基本編】の学習後に実施いただくと効果的です。

※きょうだい学級など、高学年が低学年の掃除を手伝うときにご活用いただけます。

発展編

●授業のねらい

学習項目	知識・理解	関心・意欲・態度	思考・判断・ 創意工夫	技能・表現
授業1 どうしてそうじをするのだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除の大切さ、必要性がわかる</li> <li>➤ 生活していると自然に出る汚れと人間が出す汚れに気づく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除に関心を持ち、汚れや掃除をすることに興味を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除をしなければどうなるのかを考える</li> </ul>	
授業2 そうじ用具を正しく使おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 効果的な掃除用具の使い方がわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ</li> <li>➤ 学習したことを家庭での手伝いとして実施してみようという意欲を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除用具の効果的な使い方と、効果的な理由を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 効果的な掃除用具の使い方を習得し、掃除時間などで実践できる</li> </ul>
授業3 学校そうじの正しい手順を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 効果的な掃除の手順がわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 効果的な掃除手順と効果的な理由を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 効果的な掃除の手順を習得し、掃除時間などで実践できる</li> </ul>
授業4 身近にあるものを使ってそうじをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 身近なものを工夫することで、効果的な掃除用具になることがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ どのようなものが掃除用具になるか考える</li> <li>➤ 身近なものが掃除用具として、どのように活用できるかを考える</li> </ul>	
授業5 よごれに合ったそうじの方法を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 汚れの種類によって掃除の仕方や掃除用具を工夫することがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 汚れに合った掃除の仕方はどのようなものか考える</li> <li>➤ 汚れに合った掃除用具や掃除方法はどのようなものか考える</li> </ul>	
授業6 学校そうじの合格基準を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 合格基準とは何かがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ みんなが快適に過ごせる環境づくりに関心を持つ</li> <li>➤ 合格基準をつくってみようという意欲を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ みんなが快適に過ごせる、きれいな学校にするにはどうしたらいいかを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 見る人を意識した撮影ができる</li> <li>➤ 気づいたことをワークシートにまとめられる</li> </ul>
授業7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ なぜ掃除のプロが求められているのかがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 快適に生活するために、今後の掃除に対しても、意欲的な姿勢を示す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除のプロの話を知った上で、掃除にはどのような意義があるか考える</li> </ul>	
発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 要点をまとめて整理する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 他の学年に掃除の大切さや必要性を伝えようという意欲を持つ</li> <li>➤ グループで協力して活動しようとする態度を示す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 相手にわかりやすく伝えるためには、どのようなことに気をつけなければならないかを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 相手にわかりやすく伝えることを意識して伝える</li> </ul>

## 発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう

【対象：高学年】

掃除の大切さや掃除用具の正しい使い方、手順について、他の学年に伝えることで、高学年としての自覚をうながすとともに、学校(公共の場)をきれいにしたいという気持ちを育みます。

※本授業は、ダスキン小学校用カリキュラムの授業1～授業7のいずれかの授業を実施していただいた後の発展授業として実施してください。

### 進行概要 <45分授業×2>

#### 1 時間目

	min	概要
導入	5	学校全体をいつもきれいにするために、下級生にそうじの大切さや掃除方法を伝える活動をしようという意欲をもつ
展開	20	相手にわかりやすく伝えるために必要なことを考える ・教員が制作したポスターサンプルを見て、相手にわかりやすく伝えるためにはどのような工夫が必要かを考える ・伝えたい内容の企画を立てる
実習	20	グループで協力してポスターを制作する

#### 2 時間目

	min	概要
実習	10	ポスター制作の続き、発表練習
発表	30	発表する ・どのような想いでポスターを作ったのか、相手に伝わるように発表する
まとめ	5	学習内容を振り返り、今後の学校生活に活かすように意識させる

※P.13の参考授業のように、ポスター以外で伝える方法もあります。

### 使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	参考資料 1 (ポスターサンプル①)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	1 枚	児童に制作物のイメージをわかせるためのサンプル教材	児童
②	参考資料 2 (ポスターサンプル②)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	1 枚	児童に制作物のイメージをわかせるためのサンプル教材	児童
③	ワークシート (企画・発表シート)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	1 枚	ポスター制作と発表する内容をまとめるシート	児童

### 準備物

配付資料	・参考資料 1、参考資料 2 (グループに 1 枚でよい) ・ワークシート
その他	・ポスター制作時に必要なもの(筆記用具、画用紙など)

「下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう」授業進行ガイド

本授業は、ダスキン小学校用カリキュラムの授業1～授業7のいずれかの授業を実施していただいた後の発展として実施してください。

■1 時間目(45 分)

	進行用スライド		流れ
導入 5分		ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業の見通しを持つ</li> <li>●下級生に伝えようという意欲を持つ</li> </ul>
		進行・教師の投げかけ	<p><b>【発問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の掃除場所で、せっかく掃除をしたのにすぐによごれて残念な気持ちになったことのある人はいますか？</li> <li>→予想される児童の発言 トイレ掃除で、掃除をしてもすぐに汚れている 階段とか廊下とか、ゴミを落としてもそのままの人がいる</li> <li>・学校の中で、もっとこの場所はきれいになるのに…と思う場所がありますか？</li> <li>→予想される児童の発言 ××室の前の廊下が、いつも隅の方にホコリがたまっていて気になる 玄関にいつも砂が落ちている</li> </ul> <p>※自由に発言させる。グループで話かせてもよい。</p> <p><b>【発問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが一生懸命掃除をした場所が、他の人にすぐに汚されると残念な気持ちになると思います。また、もっときれいにできるのに…と思う場所もたくさんあることがわかりました。では、学校みんなに、『学校をもっときれいにしよう、きれいになったらその状態を続けよう』と伝えていくためには、どんな方法があるでしょうか。</li> </ul> <p>※自由に児童に発言させる。最終的には「下級生にポスターなどで伝えていく」という意見を引き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校みんなに伝えていくために、ポスターを作って学校に貼りましょう。『みんなの学校をきれいにしていこう』という想いを込めたポスターを作りましょう。</li> </ul>
展開 20分		ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相手にわかりやすく伝えるために必要なことが考えられる</li> <li>●自分が伝えたいことを明確にし、どのように伝えたらよいか、計画を立てることができる</li> <li>●グループで協力して活動できる</li> </ul>
		進行・教師の投げかけ	<p><b>【発問】</b></p> <p>①相手にわかりやすく伝えるために必要なことを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなに伝えていくために考えなければいけないことは何でしょうか。1年生に学校をいつもきれいにするために必要なことを伝えるには、どんなポスターが必要でしょうか。3年生の場合はどうでしょう。</li> </ul> <p>※自由に児童に発言させ、出てきた意見を板書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-漢字をあまり使わない</li> <li>-写真を大きくする</li> <li>-絵を入れる</li> </ul> <p>などの意見が出るのが予測される。</p> <p><b>【説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな意見が出ました。みなさんが発言してくれた通り、相手に物事を伝えるためには、その人にあった内容にすることが大切ですね。ではそれをこれから作るポスターにきちんと取り入れましょう。</li> </ul> <p>②サンプルを見る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生がいくつかサンプルを作っています。見てください。</li> </ul> <p>参考資料 1: 掃除の方法を書き、みんながきれいな状態を作れるようにした資料 参考資料 2: 黒板がこのような状態なら気持ちよくなると思うことを取り入れた資料</p>

		<p>③企画をたてる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンプルを見てイメージがわかりましたか？次に考えて欲しいのは、実際に何を伝えるかということです。学校全体をいつもきれいにするために、下級生に何を伝えなければならないか、ということを考える必要があります。「誰に」「何を」伝えるのか、しっかり考えましょう。ではグループに分かれてワークシートで企画を立てましょう。</li> <li>※ワークシートを配付する。</li> <li>・「誰に」「何を」が決まったグループは、具体的にどんな紙面にするかの下書きを描いて、必要な役割を分担する</li> <li>-写真を準備する(使う写真を選ぶ)</li> <li>-見出しや文章を考える</li> <li>-全体的なタイムマネジメントをする</li> <li>-下級生がわかりやすい内容(文章・漢字・レイアウトなど)になっているかチェックする</li> <li>-発表をする</li> <li>など、グループで役割分担をして作成できるようにうながす。</li> </ul>
実習 20分	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象に合わせてわかりやすい制作物を作ることができる</li> <li>●伝えたいことを明確にポスターで表現できる</li> <li>●グループで協力して活動できる</li> </ul>
	進行・教師の投げかけ	<p>&lt;活動&gt; 制作する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画をした内容をもとに、グループで協力してポスターを清書しましょう。役割分担をしているので、みんなで協力して時間内に仕上げましょう。最初にみんなで考えた、下級生にわかりやすく伝えるために必要なこと、これがきちんと盛り込まれているかは必ず確認してください。つくったポスターは廊下や階段に掲示します。</li> <li>※画用紙を配付する。</li> <li>※写真を撮影する場合は、デジカメ、出力の用意をしておく</li> </ul>

■ 2 時間目 (45 分)

	進行用スライド	流れ
実習 10分	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象に合わせてわかりやすい制作物をつくることができる</li> <li>●グループで役割分担をして発表の練習ができる</li> <li>●グループで協力して活動できる</li> </ul>
	進行・教師の投げかけ	<p>&lt;活動&gt;</p> <p>①作成したポスターを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ全員で作ったポスターを振り返りましょう。伝えたいことを相手に伝えられるように作成できたか、工夫したところはどこかなど、みんなで話し合います。</li> </ul> <p>②クラスでの発表に向けて練習を行うようながす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターが完成して、グループでの話し合いも終えたグループは『下級生に伝えたい点は何か、どんなところを工夫したのか、どんなところが難しかったのか、上手くできたところはどこか』を発表できるように、練習しましょう。</li> </ul>
発表 30分	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●どのような想いでポスターを作成したのか発表することができる</li> <li>●制作したものを他のグループにわかりやすく伝えることができる</li> </ul>
	進行・教師の投げかけ	<p>&lt;活動&gt; 発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに「どんなことを伝えたくて作ったのか」を、ポスターを見せながら発表しましょう。</li> <li>※発表内容を明確に児童に説明させるようにする(ワークシートの「④発表しよう！」参照)</li> <li>●伝えたい人はだれ？ ●伝えたいことはどんなこと？</li> <li>●ポスターを作るときに、工夫したところ、難しかったところ、よくできたところは？</li> </ul>



まとめ 5分	ねらい	●学習してきた内容を振り返り、今後の学校生活でも活かすように意識させる
	進行・教師の投げかけ	<活動> ・感想を共有することで、学習のねらいを振り返り、クリーンリーダーとして何をしていくかを考える 学校をきれいにするために、他の学年に『どうすればいいか』を伝えることができましたか？大切なことはポスターを貼ったらそれで終わりではなくて、みんなが、いつも学校をきれいにできるようになることです。毎日の学校生活や、掃除時間で気づいたことがあれば、すぐに声をかけあい、自分たちもきれいにする努力をしていくことが大切です。みなさんのこれからの頑張りに期待しています。  ※作成したポスターを適した場所に掲示させる



# ポスターサンプル①

児童が制作物のイメージを持てるように作成したポスターサンプルです。  
主に中学年(3・4年生)を対象とした内容にしています。

## こくばん 黒板そうじのプロになろう！

5年2組 黒板グループ



### こんなふう<sup>こな</sup>にそうじしよう！

- ① チョークの粉<sup>こな</sup>のついていない黒板<sup>こくばん</sup>消しで、  
同じ方向<sup>ほうこう</sup>に黒板<sup>こくばん</sup>をふく
- ② 黒板<sup>こくばん</sup>みぞのチョークの粉<sup>こな</sup>を集めて捨<sup>す</sup>てる
- ③ めれたぞうきんでみぞ<sup>こくばん</sup>をふく
- ④ 黒板<sup>こくばん</sup>消しのチョークの粉<sup>こな</sup>をとる

**ポイント**

きれいな黒板消しで  
黒板をふくことから  
はじめよう！



参考資料 2

ポスターサンプル②

児童が制作物のイメージを持てるように作成したポスターサンプルです。  
掃除をする必要性などについて伝える内容です。  
主に低学年(1・2年生)を対象とした内容にしています。

# きれい って きも 気持ちいいね!



いつもこのしゃしんのようにいたら、

きも  
気持ちいいですね

きちんとおそうじをして、きも  
気持ちよくすごしましょう!

さくせい 作成：5年2組 こくばん 黒板グループ



# 企画・発表シート

( ) 年 ( ) 組 ( ) グループ

## ①みんなで考えよう！

誰に伝える？	具体的に何年生に伝えるのかを決めます
何を伝える？	学校をみんなできれいにしていくために、伝えたいことは何かを考えさせてください
ポスターのキャッチコピーを考えよう	要点をおさえ、見る人の興味・関心をひくようなキャッチコピーを考えるように伝えてください

## ②役割を決めよう！

例) ポスターの絵をかく、写真を用意する、発表の原稿げんこうを考える、発表する・・・など

名前	役割	名前	役割

## ③みんなで仕上げたポスターをふり返ろう！

ポスターを作るときに、工夫したところ、むずかしかったところ、よくできたところを話し合おう

## ④発表しよう！

ポスターを見せながら次のことを発表しよう

- 伝えたい人はだれ？
- 伝えたいことはどんなこと？
- ポスターを作るときに、工夫したところ、むずかしかったところ、よくできたところは？



## 「下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう」参考授業

授業「発展」では低学年へ伝える学習成果物をポスターだけではなく、どのような形で伝えるかを考え、コンピューターなどを活用して制作することも可能です。学習目標、学習日程に合わせてアレンジして実施してみてください。

### ● “伝える” ための内容と方法（参考例）

手段	使用媒体	方法
・電子紙芝居(スライド教材)	プレゼンテーションソフト	・交流学习の時間等で直接下級生に伝える ・学習発表会、朝礼時などで発表する
・壁新聞	ワープロソフト	・掲示板、廊下等に掲示する ・家庭に配布する
・掃除映像マニュアル	映像	・交流学习の時間等で直接、下級生に伝える ・学校放送で流す

### ● 発展授業のポイント

1. どんな方法で伝えたらいいか児童に自由に選択させる
  - ・グループで一つの意見にまとめていく
2. 選んだ方法によっていろいろな企画方法を学ばせる
  - ・何を伝えるかを考え、ストーリーボード、絵コンテなどを作成する
  - ・役割分担をする
3. リハーサルを実施させる
  - ・全体発表の前に、グループで発表のリハーサルをする
  - ・自己評価を行い、改善する
  - ・相互評価を行い、更なる改善点を明確にする